

巻頭言

# 女子中高生だけじゃない!! 大人も楽しむ「夏の学校」

藤村 雅代\*

防衛大学校 数学教育室

女子中高生夏の学校（以降，夏学）は JST の次世代人材育成事業の一つとして，毎年 8 月上旬に独立行政法人国立女性教育会館で開催されている合宿型のイベントです．研究者・技術者，理系大学（院）生との交流を通して女子中高生が自ら科学・技術の分野に新たな自分の可能性を見つけることをねらいとしています．2017 年には全国から約 100 名の女子中高生と，理系の 40 学協会からの研究者らが参加しました．日本数式処理学会（以降，JSSAC）からは，大橋真也先生，木村欣司先生，照井章先生，私の 4 名がポスター展示をメインとしていくつかの企画に手分けをして参加しました．

各学会からの参加者が行うメインの活動は「実験・実習」と「ポスター展示」ですが，これらについては過去の活動報告にも簡単に記載させていただいたので，ここでは夜に行われる研究者と学生の交流「研究者・技術者や TA とのキャリア・進学懇談会」について雑感を述べたいと思います．

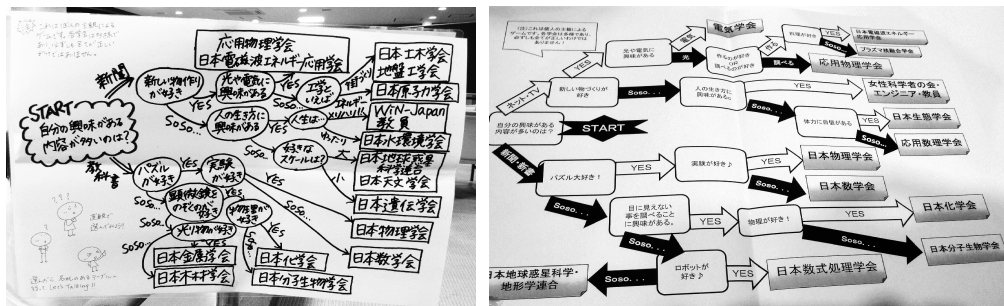


図 1: YES/NO アンケート 2015 年 (左): ゴールに JSSAC がいない。  
 2016 年 (右): ネット・TV より新聞・新書 [Yes] パズル大好き [Soso..]  
 目に見えない事を調べるのに興味あり [Soso..] ロボットが好き [Yes] 【JSSAC】

懇談会では，「将来，飛行機的设计をしたいけど空間ベクトルが苦手」(それじゃ，飛行機は飛べないよね...) という学生や「女子大ってどんなところですか?」(私には分からないよ...) と

\*masayo@nda.ac.jp

話しかけてくる学生などもいて、自由でゆい時間が流れます。

学生たちは、あらかじめ入り口の『YES/NO アンケート』で自分の関心に近い「学会」を探して、その学会のブースを訪れます。実は、2015年にはアンケートのゴールにJSSACが無かったのです(図1:左)。2016年には、ゴールにJSSACが出現(図1:右)したものの、『数式処理』に関する認識が今ひとつでした。2017年には、かなり認識が正しいものに近づきました(図2)。アンケートの作成はTAの学生の担当なので、彼女たちへ『数式処理』のキーワードが正しく浸透してきた成果であれば嬉しいです。

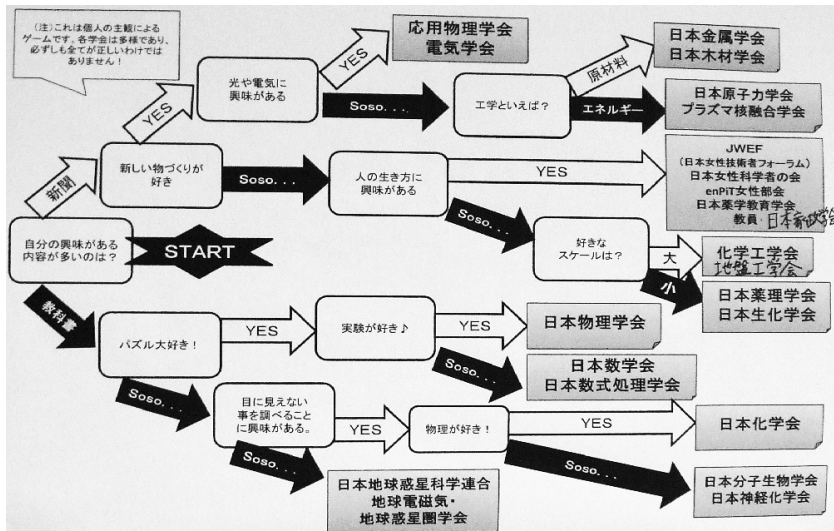


図 2: 2017 年：新聞より教科書 [Yes] パズル大好き [Yes] 実験が好き [Soso..] 【JSSAC】

雑談中には、他の学会の先生から「数式処理って、何をどう処理しているの?」という質問もあり『大人』に対する認識を広めることも夏学に参加する意義の一つだと感じています。このように、夏学は女子中高生に理系の楽しさを伝えるという本来の目的の活動以外にも、他学会の先生方との交流あり、忘れかけていた遠い日の記憶も思い出させてくれる体験あり、といろんな要素が詰まったイベントです。

今年も以下の日程で夏学が行われます。

女子中高生夏の学校 2018 ~ 科学・技術・人との出会い ~

日 時 : 平成 30 年 8 月 9 日 (木) ~ 11 日 (土)

場 所 : 国立女性教育会館 (埼玉県比企郡)

プログラムなどの詳細はまだ発表されていませんが、ポスター展示や実験・実習に興味を持たれた方、一緒に「数式処理」を広める活動をしていただける方は私までご一報いただけますとありがたいです。

最後になりますが、このような活動が今後の「数式処理」の発展に少しでも貢献できることを願っております。